

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）						対象年度		令和5年度			
事業番号	62	事業名	街路樹市民管理事業			担当課		みどりの推進課			
						予算区分（款-項-目-中事業）		7-1-1-3 街路樹市民管理事業			
			(大事業名) 土木事務事業			決算書ページ		- ~ - 一般			
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物		事業開始の背景	市道における街路樹について、アダプト制度を取り入れることで市民の街路樹への愛着の形成、街路樹管理の質の向上を図っていく。				
		政策	2	地域の課題をみんなで解決							
		施策	(3)	まちの緑の創出							市民・民間事業者との連携協働の可能性
	その他	開始年度	令和2年度								
		終了予定年度	☐	年度	☒						未定
		根拠法令等	無し								
		関連計画	無し								
	事業の概要・目的	アウトプット（詳細はⅡへ）					アウトカム（詳細はⅢへ）				
		①事業概要 (どんな取組を行うのか)			②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)			④最終成果 (大事業の将来像)	
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 不明			チラシ、ホームページ等でアダプト制度の周知を行うと共に、街路樹がある沿線店舗については戸別訪問し、アダプト制度の登録を促す。		アダプト制度に興味関心を持つ方が増え、アダプト制度へ参加する人が増加。 (成果指標名) アダプト制度の登録人数			大 事 業 共 通 市民の街路樹への愛着の形成、街路樹管理の質の向上。	
【事業内容】 市道の街路樹周辺に住む長久手市民や企業等を対象とし、より多くの方が参加し、街路樹について愛着を持ってもらうため、アダプト制度の登録者数が増加するよう周知を行う。											

Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ		区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度
		1	【その他指標】 街路樹アダプト制度登録者数	件	基準値	－	見込	－	15	18	20	22
					目標値	－	実績	－				
		2	【アクションプラン事業】 市民管理団体数【単年】	団体	基準値	－	見込	15	－	－	－	－
					目標値	7	実績	12	－	－	－	－
		3			基準値		見込					
					目標値		実績					
		4			基準値		見込					
					目標値		実績					
エピソード	事業開始からの経緯											
	令和元年度に土木課から事業移管後、課題を抽出して、市民が参加しやすいことを意識した制度にして試行。令和4年7月から上級者制度及び初級者制度を設け、ハードルを下げた本格運用を開始した。ホームページや広報にて周知を行い、登録者数の増加に努めている。											
	R5(2023)年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	・令和4年度は広報に掲載したことや店舗等への声かけを行ったことで大幅な登録者数の増加(8件)があった。令和5年度については特段の広報活動が出来なかったため、今後も引き続き広報の掲載及び店舗等への直接の声かけ等を行い、登録者数の増加を図りたい。 ・令和4年度に登録いただいた2件(何れも個人)が引っ越し等の理由で解除の申し出があった。											

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標										
		アダプト制度の登録人数	人	－ 年度		4 年度		【現状】 5 年度		9 年度		13 年度		
				－		42		74		357		609		
		成果達成状況				指標目標値の根拠								
		D	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている				グリーンロード及び田畔名古屋線に対し29区間が設定されている。R4年度実績として、2団体で42人の活動参加があり、1団体当たり21人となる。全区間にアダプト登録がされる29区間×21人=609人を目標とする。目標年次としては、毎年3団体ずつ増やしていく予定とし、（29団体【目標】-2団体【既存】）÷3団体=9年後を目標年次とする。							
	評価の理由、分析													
	令和5年度に特段の広報活動が出来なかったため、登録者数が目標に達していない。 令和5年度目標：105人													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）		今後の方向性の理由										
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		事務事業の移管を行い、業務改善を行う。									
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1		街路樹維持管理事業（土木課）	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	現状、みどりの推進課で申請を受け付け、土木課へ調整している。また、事業費の削減を目指す街路樹の維持管理等については土木課の事業であることから、本アダプト制度にかかる事業は土木課への移管が望ましいと考える。								R7		

IV 費用	令和7年度予算の方向性（PLAN）	R7年度の費用（R6年度比）		3年間の推移	(単位：千円)		R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度	
		C	A. 現状維持 B. 拡充		事業費	予算	予算	決算	予算	決算	
			C. 縮小 D. 廃止			146, 866	131, 817	113, 484	135, 164	126, 351	
		理由			特定財源	合計額	6, 264	5, 581	6, 323	5, 552	6, 264
		参加者が積極的に活動を行っている箇所について、清掃業務の回数を1回減らすなどが可能である。 ※ 土木課の環境整備事業が対象	(内 国費)								
			(内 県費)			6, 264	5, 581	6, 323	5, 552	6, 264	
			(内 諸収入)								
			(内 その他)								
					一般財源	140, 602	126, 236	107, 161	129, 612	120, 087	
		積算額			R6年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R5年度予算額）>						
142㎡×203円(緑地内清掃工単)=28, 826円 142㎡×432円（緑地内草取り単価）=6, 344円 計90, 170円		道路周辺維持管理委託 15, 866千円（12, 500千円） 街路樹維持管理委託 126, 000千円（114, 600千円） 調整池周辺維持管理委託 5, 000千円（4, 717千円）									